

第 3 学年課題研究 <文型> 第 3 回

教員用 授業の流れ

1. 授業実施場所

3 年 1 組 (国際)、2 組 (人文)、視聴覚室 (社会科学)、3 組 (複合領域) 教室

担当: 国際 (2 組正・副担任) 人文 (3 組正・副担任) 社会科学 (4 組正・副担任)

複合領域 (1 組正・副担任) 昂

2. 生徒の持ち物

課題研究メソッド、課題研究ノート、参考文献・資料

3. 教員の準備するもの

『研究計画書の作成』プリント (課題研究ノート P24~P25 のコピー)

4. 授業展開例

	時間	学習内容	教員の指導・留意点
導入	15:20 ~	<p>～前回の続き～</p> <p>○『研究計画書の作成』をする。 『課題研究メソッド』P.90～参考 (課題研究ノート P24~P25) 1 時間で完成 するよう、取り組む。</p> <p>○研究計画を立てながらアンケート調査 (P16,17)、インタビュー調査(P18)、参与 観察[関心を抱いた組織やグループにその一 員として参加 (参与) しながらデータを収 集する手法](P19)、実験の準備(P20,21)な ど、どの手法で研究していくのか話し合う ことを伝える。なお、文献調査だけで課題 研究を進めていくグループがあってもよ い。</p>	<p>○班になる。</p> <p>○『仮説の設定と検証』がまだのグルー プはそこから (『研究計画書の作成』を視 野に入れながら取り組ませるとよい。)</p> <p>○半年間かけて行う研究について、充分 な計画を行う。</p> <p>○研究計画書は授業後に回収し、担任・ 副担任でチェックすることを伝える(チェ ック項目について P23)。また、不十分な ものは書き直しをすることになることを 伝える。</p>
回収後	16:07 ~	<p>○次回の予告 次回は 5 月 21 日(月)予定 主な活動内容 ・研究計画書の見直し ・研究開始</p> <p>○必要な資料を準備してくること。 ★提出できないグループは 5 月 10 日(木)締 め切りで提出する。</p>	<p>○先生方のチェックページは、課題研究 ノート P23。</p> <p>○担任・副担任で手分けをして P23 で研 究計画書をチェックする[5 月 21 日まで に]。不十分な生徒には 5 月 21 日の課題 研究授業時に返却し、修正させる。研究 計画書がそのまま良いグループは 5 月 21 日から研究を開始する。</p>